

2023 年 5 月 22 日開催 常任理事会
理事長報告

1. 日学の動向

①李相佰盃日韓学生競技大会

2023 年 5 月 19 日（金）～21 日（日） 於ソウル・延世大学

玉城強化部理事がヘッドコーチとして参画

第 1 戦 日本 79－57 韓国

第 2 戦 日本 112－58 韓国

第 3 戦 日本 79－44 韓国

②2023 年 6 月 3 日（土）2023 年度第 1 回理事長会開催予定・荒木参加予定

③2023 年 6 月 24 日（土）2023 年度評議員会開催予定・荒木、坂井評議員参加予定

④東海大学の学生が大学を退学し B リーグ千葉ジェッツふなばしに移籍＜資料あり＞

2. 日本協会（JBA）の動向＜資料あり＞

5 月 12 日に新たなコロナ対策の基本方針を発表、今後ガイドラインを撤廃することを表明。

3. 5 月 14 日阪南大学でのイベントの報告＜資料あり＞

約 20 名の女子学生が参加。阪南大学女子バスケット部の結成と関西女子学連への加盟を促進した。

4. 9 月 24 日豊中市との連携による子ども向けフェスタについて＜資料あり＞

5 月 25 日に打ち合わせを開催する。

以上

日本代表の金近廉がBリーグ入り…東海大を退学して千葉ジェッツに加入、来季からプロ選手に

4/5(水) 16:12 配信



BASKETBALL KING

千葉ジェッツは4月5日、[金近廉](#)が2022-23シーズンの練習生として加入し、2023-24シーズンの基本契約に合意したことを発表した。[東海大学](#)を退学し、千葉での活動に専念するという。[【動画】金近廉 日本代表デビュー戦で躍動](#) 現在20歳の金近は、196センチ88キロのスモールフォワード。関西大北陽高校から東海大学に進学すると、2月に行われた「[FIBA バスケットボールワールドカップ 2023 アジア地区予選](#)」Window6で日本代表デビューを飾った。同選手はクラブを通じて「千葉ジェッツに今季練習生として、来季プロ契約選手として加入させていただくことになった金近廉です。大学を退学し、プロの道へ進むことを後押ししてくださった東海大学のスタッフの方々、チームメイト、また、シーズンの終盤で大事な時期にも関わらず、受け入れてくださった千葉ジェッツの関係者の方々に感謝申し上げます。今後、千葉ジェッツというチームを更に強くするため、今出来ることに全力で取り組み、チームの勝利に貢献したいと思います。応援よろしくお願いします!」と意気込みを語った。また、池内勇太ゼネラルマネージャーは金近の加入について次のように説明した。「金近選手のことは彼が高校2年生の頃から追いかけており、東海大学入学後は毎年、特別指定選手のオファーをさせていただいておりました。昨年のインカレでは東海大学のエースとして、2年ぶりに優勝へ導き、得点王と優秀選手賞を受賞しております。また2月のFIBAワールドカップ予選では日本代表A代表でもデビューしており、実力は皆さまご存知の通りかと思いますが、得意のスリーポイントと持ち前の跳躍力からフィニッシュまでもっていくことのできる得点力、そして大学でインサイドプレーも培ったことで、オフェンス、ディフェンス共に複数のポジションをこなすことができます」「このユーティリティ性は今後[Bリーグ](#)、そして日本、アジアを代表するオールラウンダープレイヤーに必ず成長するものだと感じており、千葉ジェッツの激しいディフェンスとスピード感のあるアップテンポなスタイルにもフィットすると考えております」「今回千葉ジェッツへの加入の経緯といたしましては、金近選手がプロへの挑戦をする意思を決めた中で、東海大学を通じてオファーをさせていただき、東海大学の陸川監督、木村コーチとも話し合いを重ね、大学側も千葉ジェッツへ送り出してくださった形です。この加入については、大変多くの関係者の皆さまのご理解もあり、実現しております。この場をお借りして改めて感謝申し上げます」「また、このタイミングでの加入については、8月から開幕する世界選手権（原文のまま、正式にはFIBAワールドカップ）へのロスター入りを目指すことも視野に入れており、千葉ジェッツとしては彼の目標を実現できるよう最大限にサポートして参ります。今シーズンBリーグでのプレーは叶いませんが、本日よりチームにも帯同いたしますので、千葉ジェッツの金近廉に熱いご声援をいただきますよう、よろしくお願い致します」

BASKETBALL KING

金近廉選手の報道に対する弊部の見解とお願い

日頃より東海大学男子バスケットボール部へのご支援ご声援をいただき感謝申し上げます。

昨日（2023年4月5日）の金近選手の報道に対する弊部の見解をご説明させていただきます。経緯としましては、2月の代表戦デビュー後に本人から、プロ選手になりたいと相談がありました。より高いレベルで競技をすることを望むのはバスケットボール選手として自然な欲望であり、素晴らしいことです。我々としては本人の意向を最大限に尊重したいと考え議論を重ねました。彼との話し合いの中では、バスケットボール選手としてのキャリアを終えた後の人生についてもこちらの思いを伝え、学位を取るために大学に籍を残しながらプロ選手としてプレーすることや、Bリーグの登録期限を踏まえてあと1年間を大学やU22代表としてプレーした後にプロ選手になることなど、様々な選択肢があることを伝えました。最終的には、複数の選択肢の中から彼自身が「退学してプロ選手になる」と決断をしました。その後、千葉ジェッツさんからお声がけいただき、今回の報道の通り契約に至りました。

昨年のインカレや代表戦での活躍を見ていただければ彼のバスケットボール選手としてのポテンシャルや能力、リーダーシップは誰もが認めるところかと思います。諸外国では大学生年代でプロ選手になることは珍しくありませんが、日本ではこのような事例はまだ稀なケースです。しかしながら、最近の河村選手の活躍を見ても十分に通用することを示してくれています。また、日本の強化のためにはできるだけ早期に世界を経験することが重要です。プロ選手として勝負できる時間は限られており、パリ五輪を前にできるだけ競技に集中する環境に身を置くことは、彼の競技人生において良い選択になると思います。

一方で、今回のような事例が今後も続くとなると、大学スポーツの位置付けを見直しせざるを得なくなるのも事実です。大学スポーツは4年間在籍することを前提に毎年リクルートを行い育成・強化をしています。その育成過程の中で、チームの中心選手が突如いなくなってしまうことへの損失は皆様も想像に難くないと思います。日本協会やBリーグの関係者の皆様におかれましては、未来ある有望な若い選手たちが、彼ら自身の人生の岐路において正しい判断ができるよう、このような事案に対する規約の策定を検討していただくことを強く望みます。

最後になりますが、私は金近選手の今回の決断に対して最大限の敬意を表するとともに、今後も応援していきます。また、東海大学シーガルスは不屈の精神で今シーズンもベストを尽くす所存です。引き続き、ご支援ご声援の程宜しくお願い致します。

東海大学男子バスケットボール部
監督 陸川 章

2023 年 5 月 12 日

各位

公益財団法人 日本バスケットボール協会

「5 類感染症」位置づけ変更後の基本的な感染対策について

日頃より当協会の活動に対し、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策について、当協会では 2020 年 6 月 8 日に「JBA バスケットボール活動再開に向けたガイドライン」第 1 版を発表し、それ以降、同感染症の国内感染状況や、政府・行政・地域等の指針や指導に準じ、2023 年 3 月 13 日発表の「新型コロナウイルス感染症に関する JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン第 6 版」まで、バスケットボール活動に関する当協会としての見解、大会実施に関する考え方・注意事項、さらに罹患者の回復後や濃厚接触者の競技復帰フロー等について、検討・修正を重ね随時ご共有をしてまいりました。

そして現在、政府は 5 月 8 日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを、季節性インフルエンザと同じ「5 類」に引き下げることを決定しました。その措置に伴い日常における感染対策については主体的な選択を個人の判断に委ねることとなるため、当協会として「JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン」は廃止することといたします。

しかしながら感染症法上の位置づけ変更後も、基本的な感染対策は重要であるため、下記に必要な情報をご提供いたしますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

1. 基本的な感染対策の考え方

①マスクの着用

- ・個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本にします。

- ※本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人やチームの判断が尊重されるようにご配慮をお願いします。

- ※レフェリーマスクも同様に競技会として着用を求める場合以外は、個人の判断に委ねるものとします。

- ・高齢者等重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、着用が効果的な場面ではマスクの着用を推奨します。

- ※高齢者等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けることが感染防止対策として有効です。

②手洗い等の手指衛生、換気

- ・新型コロナウイルス感染症の特徴をふまえ、基本的感染対策として引き続き有効なため励行をお願いします。



2. 位置づけ変更後の感染対策の実施の考え方と陽性者・体調不良者の対応について

- ①競技会等における施設入場時の検温、入り口での消毒液の設置、またアクリル板、ビニールシート等のパーテーション(仕切り)の設置は原則撤廃いたします。
 - ②陽性判定を受けた場合は、発症の翌日から5日間は外出を控え、症状が軽くなってから24時間程度は外出を控えてください。その上で10日間が経過するまではウイルスを排出する可能性があることから、できるだけマスクを着用し、人混みは避け、高齢者等との接触は控えるようにしてください。
 - ③以下いずれかの目安に該当する「体調不良者」は、競技会、練習・試合等への参加を見合わせてください。
 - (ア) 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合。
 - (イ) 重症化しやすい方(高齢者や基礎疾患がある人)で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。
 - (ウ) 比較的軽い風邪が続く。
- ※体調不良者は発症から数えて2日、および症状消失後より数えて3日間は活動を休み、自宅療養することを推奨します。

3. 位置づけ変更後の新たな変異株出現等への対応

位置づけ変更後にオミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現する等、科学的な前提が異なる状況になった場合、また政府が新たな変異株を感染症法上の「指定感染症」等に位置付けた上で、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、基本的対処方針に基づく要請を行った場合には、当協会はただちに必要な対応を講じることいたします。

また今後において感染が急拡大している時期や、医療機関、高齢者施設等の重症化リスクの高い方が多い場面等、状況によってはこれまでの取り組みを参考に、当協会として再び感染対策を強化していくこともありますのでご承知おきください。

以上